

# EDIUS X 更新履歴

2023年1月10日更新

## Version 10.21.8061 Released 2021-11-14

### 機能追加

本バージョンにて以下の機能が追加または改善されました。

#### EDIUS

- サブスクリプションライセンスをサポート。
- GV Job Monitor 上に表示される名称”表示種別”を、より適切な名称”ジョブ種別”に変更。

#### Mync

- サブスクリプションライセンスをサポート。

### 更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

#### EDIUS

- M2TS ファイルの波形キャッシュの作成に時間がかかる。(SFDC00767280)
- MP4 ファイルの回転情報がプロキシに反映されない。
- ミュートされたトラックにタイムラインシーケンスが含まれているとエクスポートが失敗する。
- Ross Video の 24bit XPression AVI ファイルをロードすると EDIUS が強制終了する。(SFDC00793788)
- サブクリップの Bin ファイル変換に失敗する。
- クイックタイトラーで Style-01 以外がテキストのスタイルがとして選択されている場合、文字間隔及び行間隔の欄にマイナス記号をキーボードから入力できない。(SFDC00785451)
- Bin 内のサムネイル上でマウスホイールを素早くクリックするとマウスの左ボタンが機能しなくなる。(SFDC00785785)
- 部分的なレンダリングのジョブを停止してから再開すると、ジョブの終了時に”プロセスはファイルにアクセスできません。別のプロセスが使用中です。”というエラーが出る。
- クリップレンダリングで作成されたレンダリング済みファイルがマルチカムモードで使用されない。  
※制限事項: レンダリング済みファイルを使用するには”マルチカム表示”メニューで”ビデオフィルターの適用”が有効になっている必要がある。
- マスクフィルターが適用されたクリップの再生中に EDIUS がフリーズする。(SFDC00785768)
- ブレンドフィルターが適用されたクリップの再生中に EDIUS がフリーズする。(SFDC00782179)
- 特定の組み合わせで複合フィルターを適用すると、部分的にレンダリングされたファイルが使用されない。(SFDC00788064)
- プレイヤーにロードされているクリップ名が、そのオリジナルのクリップ名を EDIUS の外部で変更した際に変更されない。(SFDC00787469)
- 初期状態では英語以外の GV Job Monitor の GUI は全ての表示種別が選択されているかのように誤って表示する。
- アルファ カスタム トランジションに適用したアルファ ビットマップの高さがおかしい。(SFDC00790288)
- ドライブのルートフォルダに P2 8K Exchange Format のフォルダー構造がある場合プロジェクトを開くのに時間がかかる。
- 時差編集クリップをロードしているとプロジェクトに読み込んだクリップの存在確認に時間がかかる。(SFDC00785883)
- 特定の XDCAM HD422 MXF ファイルをスクラブ中にブロックノイズが出る。(SFDC00789802)
- Bin でファイル変換(一括)を選択すると一部のクリップ名が変更されずオフラインのままになる。
- EDIUS が出力した非圧縮(RGB) AVI ファイルの幅が四の倍数でない場合、そのクリップは Windows の”映画 & テレビ”で再生できない。
- フローティングライセンス環境で EDIUS をインストールした PC を起動すると EDIUS 自体を起動しなくても 1 ライセンス使用する。

## Mync

- Ross Video の 24bit XPression AVI ファイルをロードすると Mync が強制終了する。(SFDC00793788)
- 特定の XDCAM HD422 MXF ファイルをスクラブ中にブロックノイズが出る。(SFDC00789802)

## Version 10.30.8244 Released 2021-12-08

### 機能追加

本バージョンにて以下の機能が追加または改善されました。

### EDIUS

- クリップの属性を他のクリップにコピーする機能を追加。
- タイムライン上のクリップにクリップマーカを追加するショートカットキーを追加。
- タイムライン上にロードされたタイムラインシーケンスのオーディオ波形を表示する機能を追加。
- タイムラインにロードされたタイムラインシーケンス内のクリップマーカとシーケンスマーカを表示する機能を追加。
- Windows 11 をサポート  
※詳細については EDIUSWorld.com の [FAQ](#) を参照。
- 可変フレームレートの MP4 ファイルをサポート。
- 通常再生にスキップフレーム再生機能を追加。
- H.265/HEVC Timecode SEI のタイムコードの読み取り及び書き込みに対応。  
※ハードウェアエンコードは未対応。
- H.264/AVC Picture Timing SEI へのタイムコードの書き込み機能を追加。  
※ハードウェアエンコードは未対応。
- インストールされている Blackmagic Design DeckLink ドライバが必要なバージョンよりも古い場合にインストール中に警告を表示する機能を追加。
- XAVC のプロキシ編集集中、Ch1 と Ch2 だけでなく全てのオーディオチャンネルの読み込みをサポート。  
※Ch3 以降はプロキシ編集集中は無音。
- エクスポーターに出力先ファイル名を自動設定する機能を追加。
- 異なるフォーマットの複数のファイルの一括ファイル変換をサポート。
- ウィンドウレイアウトを適用するためのショートカットキーを追加。
- インターレースの H265/HEVC ファイルのエクスポートをサポート。
- プレイヤーウィンドウの「スライドの拡大」用のショートカットキーを追加。
- AJA T-TAP Pro によるプレビューをサポート。  
※このデバイス用の AJA のドライバは v16.1.0.5 を推奨。  
※他の AJA デバイスには v15.5.3 を推奨。  
※詳細については EDIUSWorld.com の [FAQ](#) を参照。
- メモリー管理を改善。
- H.265/HEVC ソフトウェアエンコーダーが利用可能。
- Sony XDS シリーズ XDCAM ステーションから供給される収録中 MXF ファイルの編集が可能。  
※Workgroup のみ。
- 最新の P2 8K 422 フォーマット規格(v1.12)に準拠。
- Blackmagic RAW SDK を v2.2 に更新し以下の Blackmagic RAW クリップをサポート。
  - Panasonic Lumix S1、S5、S1H、GH5S、BGH1 及び BS1H と Blackmagic Video Assist の組み合わせで撮影されたクリップ。
  - Fujifilm GFX100 及び GFX100S と Blackmagic Video Assist の組み合わせで撮影されたクリップ。
- プロパティダイアログ内の GPS データの書式を可読性向上の為に修正。
- プロパティダイアログに MOV クリップの GPS データを表示する機能を追加。

## Mync

- Windows 11 をサポート  
※詳細については EDIUSWorld.com の [FAQ](#) を参照。

- 可変フレームレートの MP4 ファイルをサポート。
- H.265/HEVC Timecode SEI のタイムコードの読み取り及び書き込みに対応。  
※ハードウェアエンコードは未対応。
- H.264/AVC Picture Timing SEI へのタイムコードの書き込み機能を追加。  
※ハードウェアエンコードは未対応。
- インターレースの H265/HEVC ファイルのエクスポートをサポート。
- メモリー管理を改善。
- H.265/HEVC ソフトウェアエンコーダーが利用可能。
- Blackmagic RAW SDK を v2.2 に更新し以下の Blackmagic RAW クリップをサポート。
  - Panasonic Lumix S1、S5、S1H、GH5S、BGH1 及び BS1H と Blackmagic Video Assist の組み合わせで撮影されたクリップ。
  - Fujifilm GFX100 及び GFX100S と Blackmagic Video Assist の組み合わせで撮影されたクリップ。
- プロパティペイン内の GPS データの書式を可読性向上の為に修正。
- プロパティペインに MOV クリップの GPS データを表示する機能を追加。

## 更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

## EDIUS

- マーカーパレットの「前のマーカーへ移動」ボタンと「次のマーカーへ移動」ボタンのいずれかを素早く繰り返しクリックした場合、ボタンが機能しない。
- オーディオの出力を無効にしたバッチエクスポートを行うと無音のオーディオが含まれるクリップが作成される。(SFDC00793539)
- EDIUS X が Panasonic Semi-Pro で撮影した高フレームレートクリップのメタデータを認識しない。
- レンダリングされたクリップがアルファ カスタムトランジションを持つ時、アルファ カスタムの設定ダイアログを開いて閉じると映像が異常になる。
- EDIUS X が Panasonic の Media Bridge 若しくは P2 Cast で作成された CBVIDEO フォーマットのクリップのタイムコードを認識しない。
- 素材が Panasonic Media Bridge で収録されたものである場合、Panasonic KAIROS のストリーミング出力がロードできない。
- ドラフトプレビューモード中に Blackmagic RAW クリップの映像が意図せず拡大される。
- GV License Manager で「プロキシサーバーを利用」が有効になっている場合、EDIUS の起動中にエラー #2F19 が表示される。(SFDC00804222)
- プロキシのみの XAVC クリップに対しても EDIUS プロキシが作成される。
- インポートした XAVC プロキシクリップの名前の末尾に余分な"S03"という語が付く。
- 全ての波形キャッシュ生成ジョブが完了するまでエクスポートジョブが待たされる。
- カラーマットのグラデーション方向の数値を削除すると EDIUS が強制終了する。(SFDC00776583)
- セグメントエンコードを使用してエクスポートした MPEG2 MXF ファイルにブロックノイズが表示される。(SFDC00780578)
- MP4 エクスポーターで出力した Fragmented MP4 ファイルが colr/nclx (カラー情報) box を持たない。
- MOV ファイルが Dolby Digital (AC-3) 若しくは Dolby Digital Plus (EC-3) オーディオを含んでいると、そのファイルのインポートに失敗する。
- スタートアップダイアログが表示されている間にレンダーエンジンからのトースト上の[OK]ボタンをクリックすると、空のタイムラインが表示される。
- eID とライセンスのオンライン検証中に EDIUS が予期せぬウェブページを受信するとライセンスが失われる。(SFDC00763920)
- マスクフィルターの設定ダイアログを閉じるときに EDIUS が強制終了する。
- CPU が第 11 世代インテルプロセッサの場合、ハードウェアデコーダーが H.265 4:2:2 10bit クリップをデコードできない。
- MPEG2 クリップのフレームレートが 59.94p 若しくは 50p の場合、GOP ヘッダのタイムコードが正しく読めない。
- 部分レンダリングの取り消しがタイムラインに正しく反映されない。
- デュレーション付きクリップマーカーの範囲の内側に親クリップのイン点を設定すると、そのクリップマーカーの描画が不正になる。

- 変換元ファイルの名前が '\_' (アンダースコア) と数字で終わっている場合、シーケンスクリップのファイル変換が正常に行われない。
- ハードウェアエンコーダーでエクスポートした H.265 ファイルが正しくない。
- CPU が第 11 世代インテルプロセッサの場合、ハードウェアエンコーダーが H.265 4:2:2 10bit ファイルをエンコードできない。
- タイムライン上のクリップをタイムラインの先頭より前まで伸長できてしまう。
- 設定ダイアログが一度もオープンされていない場合、クロマキーの設定が保持されない。(SFDC00790785)
- EDIUS がエクスポートした AVCUltra Long-G 25 MXF ファイルを QuickTime Player が再生できない。
- XDCAM シーケンスを置いたタイムラインを ProRes MOV ファイルにエクスポートできない。(SFDC00797211)
- EDIUS がエクスポートした H.264 ファイルが Google Chrome のビルトインソフトウェアデコーダーで正しくデコードできない。
- カラーレンジが Full-Range である DNxHR444 ファイルを正しくインポートできない。  
※制限事項：インポート後、プロパティダイアログで"色の対応範囲"を"ホワイト"に手動で変更する必要あり。
- 日本語版 UI ではメニュー項目"レンダリングして貼り付け"が誤った位置に表示される。
- クリップの復元と転送ダイアログで"ファイル情報が完全に一致するファイルのみ再リンクの対象とする"オプションを有効にすると、プロキシ編集クリップの高解像度クリップへの置き換えができない。
- クリップのビットレートが 4Gbps 以上の場合、Bin に表示されるビデオビットレートプロパティの値が正しくない。
- EDIUS が正しく P2 分割クリップをエクスポートしない。(SFDC00802410)
- 特定の GPU トランジションのエフェクト設定ダイアログで、ループ再生が止まらない。
- エフェクトがレンダリングされているとそのエフェクトの設定変更がプレビューできない。

## Mync

- 特定の CR3 クリップのサムネイルが正しく表示されない。
- Mync が Panasonic Semi-Pro で撮影した高フレームレートクリップのメタデータを認識しない。
- Mync が Panasonic の Media Bridge 若しくは P2 Cast で作成された CBVIDEO フォーマットのクリップのタイムコードを認識しない。
- GV License Manager で「プロキシサーバーを利用」が有効になっている場合、Mync の起動中にエラー #2F19 が表示される。(SFDC00804222)
- インポートした XAVC プロキシクリップの名前の末尾に余分な"S03"という語が付く。
- MOV ファイルが Dolby Digital (AC-3) 若しくは Dolby Digital Plus (EC-3) オーディオを含んでいると、そのファイルのインポートに失敗する。
- eID とライセンスのオンライン検証中に Mync が予期せぬウェブページを受信するとライセンスが失われる。(SFDC00763920)
- CPU が第 11 世代インテルプロセッサの場合、ハードウェアデコーダーが H.265 4:2:2 10bit クリップをデコードできない。
- MPEG2 クリップのフレームレートが 59.94p 若しくは 50p の場合、GOP ヘッダのタイムコードが正しく読めない。
- ハードウェアエンコーダーでエクスポートした H.265 ファイルが正しくない。
- Mync が AWS の us-east-1 リージョンでのファイルの取得及びアップロードに失敗する。(Mync Cloud のみ)
- Mync がエクスポートした H.264 ファイルが Google Chrome のビルトインソフトウェアデコーダーで正しくデコードできない。

## Version 10.30.8291 Released 2021-12-23

### 機能追加

本バージョンでの機能追加はありません。

### 更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

### EDIUS

- オーディオ波形が途中までしか表示されないことがある。

- VAトラック上のビデオのみのクリップを Bin 上のクリップで置き換えると、その Bin クリップのオーディオが VAトラック上に意図せず追加される。
- マルチカムモードでタイムラインクリップを一度ナッジするとそのクリップが選択解除される。
- アルファマット変換が失敗する。
- "間引きフレーム数"の選択を変更するとオーディオモニタリングモードが"オフ"になる。
- AVCHD Writer エクスポーターがファイルのエクスポートに失敗する。
- "ファイルへ出力"ダイアログで入力したコメントが GV Job Monitor に表示されない。
- コピー元クリップより短いクリップに属性の不透明度、ボリュームまたはパンを貼り付けると、アウト点での値に初期値が設定される。
- 静止画で構成されたシーケンスクリップをファイル変換すると、結果クリップの開始タイムコードが"00:00:00:00"ではなくプロジェクト設定の TC プリセットの値になる。
- ネストされたシーケンスが Dummy Audio Filter を含んでいる場合波形キャッシュ作成ジョブが登録と失敗を繰り返す。
- EDIUS Xが Panasonic Semi-Pro で撮影した 119.8p を超える高フレームレートクリップのメタデータを認識しない。
- ネストされたシーケンスの波形が別のシーケンスから生成されることがある。
- タイムライントラックがロックされ且つミュートされているとエクスポートできない。
- クリップメニュー内の"置き換え"の"クリップ"と"クリップとフィルター"の振る舞いが以前のバージョンと異なっている。
- XDCAM エクスポーターが手動入力したクリップ名を他の名前に置き換える。

## Mync

- Mync が Panasonic Semi-Pro で撮影した 119.8p を超える高フレームレートクリップのメタデータを認識しない。

## Version 10.31.8487 Released 2022-03-03

### 機能追加

本バージョンにて以下の機能が追加または改善されました。

### EDIUS

- EDIUS が非アクティブの時にビデオハードウェアを解放するオプションを追加。  
※当該オプションは[システム]-[システム設定...]-[ハードウェア]-[プレビューデバイス]内の"EDIUS が非アクティブの時デバイスを解放する"。  
※このオプションを有効にしても下記の場合はビデオハードウェアは解放されません。
  - 再生中
  - VTR エミュレーション中
  - テープへ出力中
  - キャプチャ中
- GV Job Monitor に以下の新しいカラム・設定を追加。
  - "表示日数"設定  
※古いジョブをリストから省くための設定。
  - リストの"外部レンダーリング"及び"レンダーリング PC"カラム  
※EDIUS Hub Server 環境用
  - "この PC からのジョブ"チェックボックス  
※EDIUS Hub Server 環境用
- GV License Manager のフローティングライセンスサーバー設定に"自動で設定"オプションを追加。  
※重要: EDIUS Hub Server が存在しない場合、このオプションは使用不可。
- Canon EOS C70 及び EOS R5 C で撮影された Canon Cinema RAW Light ファイルをサポート。
- オーディオのゲイン、チャンネル及びオフセットをコピーできるように属性の貼り付け機能を拡張。
- MP3 及び AAC オーディオファイルのエクスポートのパフォーマンスを改善。
- GV Render Engine サービスを一時停止/再開するためのツール (GV Render Engine アイコン) をタスクバーコーナー (Windows 11) 若しくは通知領域 (Windows 10) に追加。  
※実行中のジョブがある場合にサービスを一時停止すると、そのジョブはサービスが開始されるまで一時停止される。



## Mync

- GV License Manager のフローティングライセンスサーバー設定に"自動で設定"オプションを追加。  
※重要: EDIUS Hub Server が存在しない場合、このオプションは使用不可。
- Canon EOS C70 及び EOS R5 C で撮影された Canon Cinema RAW Light ファイルをサポート。

## 更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

## EDIUS

- 非圧縮 RGB 10 bit MOV ファイルを正しく読み込めない。
- エクスポートが不可能である場合、ジョブの状態が"読み込み中"のまま変わらない。
- 登録したオプションライセンスが OS を再起動するまで正しく機能しない。  
※ライセンスの登録時に OS の再起動を促すように GV License Manager を修正。
- エクスポートジョブのトースト通知が大幅に遅延する。
- P2 エクスポーターで"クリップ分割時、P2 カードを自動選択する"オプションをオフにしても、P2 カードが自動選択されてしまう。
- EDIUS が第 12 世代インテルプロセッサを効率的に使用しない。
- コンピューター名を変更すると EDIUS が起動しなくなる。
- Amazon S3 バケット名が '.' (ドット) を含んでいる場合、S3 エクスポーターにプレフィックスが表示されない。(EDIUS Cloud のみ) (SFDC00808333)
- CPU が第 11 世代インテルプロセッサで NVIDIA 製 GPU がインストールされている場合、ハードウェアデコードを使用して H.264 / H.265 クリップをデコードすると EDIUS の動作が不安定になる。(SFDC00801094)
- CPU が第 12 世代インテルプロセッサである場合、ハードウェアデコードを使用して H.264 / H.265 クリップをデコードすると EDIUS がフリーズする。
- EDIUS が K2 FTP Server に接続できない。(SFDC00811115)
- プロパティダイアログでコピー元またはコピー先クリップの再生オーディオチャンネルの選択が変更された場合、オーディオ属性の貼り付けが間違ったトラックに対して実行される。
- EDIUS を予めインストールしてあるカスタムバンドルから AWS WorkSpace を起動した場合、インストールされている EDIUS が起動に失敗する。(EDIUS Cloud のみ) (SFDC00810615)  
※正常に EDIUS を起動するには、WorkSpace 上で以下の手順の実行が必要:
  - "C:\Program Files\Grass Valley\EDIUS Hub"内の SelfCertificationInstaller.exe を実行。
  - OS を再起動。
- インストール後しばらくの間、全てのエクスポートが失敗する。
- タイムラインが Amazon S3 上の MXF ファイルを含んでいるとエクスポートが非常に遅くなる。(EDIUS Cloud のみ) (SFDC00810899)
- レンダリングジョブが終了しても、ジョブの状態が"終了"にならない。
- "レンダリングして貼り付け"機能で作成されたクリップをソースとして使うとアルファマット変換が失敗する。
- Floating License Server のアップデートに失敗する。  
※本修正はインストールされたバージョンとインストールするバージョンの両方が 10.31 以降の場合にのみ有効。
- XAVC クリップをプロフェッショナルディスクにエクスポートすると、そのディスクが使用不能になる。(SFDC00805051)
- 最高画質の XDCAM HD 422 クリップをプロフェッショナルディスクにエクスポートすると、そのディスクが使用不能になる。(SFDC00796100)
- EDIUS の再起動後、進行中のジョブのステータスが EDIUS に統合された GV Job Monitor 上で正しく更新されない。
- GoPro HERO 10 で撮影したファイルをインポートすると EDIUS が強制終了する。
- "名前を変更して保存"で保存した既存プロジェクト、もしくは"既存プロジェクトをテンプレートとして使用する"オプションを使用して開始した新規プロジェクトで、Bin の"クリップの新規作成"が使用できない。
- EDIUS が特定の ProRes4444 MOV ファイルのアルファチャンネルを認識しない。
- ジョブに対し一時停止と再開を繰り返し行くと、そのジョブがエラー 0x870403FC で失敗する。
- EDIUS が起動時に強制終了する。
- Disc Burner のウィンドウサイズを変更すると"モーションメニュー"チェックボックスが表示されなくなる。
- EDIUS X のライセンス認証後、OS を再起動するまでエクスポートが一切処理されない。
- エクスポーターの詳細設定ペインで"オーディオの出力"オプションをオフにしても、ビデオのみのクリップをエク

サポートしない。

※この修正に係わらず MPG、MP4、WMV 等一部のエクスポーターは仕様上ビデオのみのクリップをエクスポートしない。

- ユーザー設定の"再生停止時にプレビュー品質を Full にする"オプションが消えている。(EDIUS X Pro のみ)

## Mync

- 非圧縮 RGB 10 bit MOV ファイルを正しく読み込めない。
- 登録したオプションライセンスが OS を再起動するまで正しく機能しない。  
※ライセンスの登録時に OS の再起動を促すように GV License Manager を修正。
- Mync が第 12 世代インテルプロセッサを効率的に使用しない。
- コンピューター名を変更すると Mync が起動後に強制終了する。
- CPU が第 11 世代インテルプロセッサで NVIDIA 製 GPU がインストールされている場合、ハードウェアデコードを使用して H.264 / H.265 クリップをデコードすると Mync の動作が不安定になる。(SFDC00801094)
- CPU が第 12 世代インテルプロセッサである場合、ハードウェアデコードを使用して H.264 / H.265 クリップをデコードすると Mync がフリーズする。
- ストーリーボードが Amazon S3 上の MXF ファイルを含んでいるとエクスポートが非常に遅くなる。(Mync Cloud のみ) (SFDC00810899)
- Floating License Server のアップデートに失敗する。  
※本修正はインストールされたバージョンとインストールするバージョンの両方が 10.31 以降の場合にのみ有効。
- GoPro HERO 10 で撮影したファイルをインポートすると Mync が強制終了する。

## Version 10.32.8648 Released 2022-04-20

### 機能追加

本バージョンにて以下の機能が追加または改善されました。

#### EDIUS

- Nikon Z9 で撮影された Nikon RAW ファイルのインポートをサポート。
- Nikon 製カメラで撮影された ProRes RAW ファイル及び Nikon RAW ファイルのプロキシ編集をサポート。
- Nikon 製カメラで撮影された ProRes RAW ファイルの既定のカラースペースを Nikon - N-Log に変更。
- 複数クリップへの属性の貼り付けをサポート。
- EDIUS が終了しバックグラウンドジョブも存在しない場合にフローティングライセンスを開放する機能を追加。
- EDIUS X Workgroup と同じ 8K 編集・エクスポート機能を EDIUS X Pro に追加。
- インストールの後処理が完了していない場合に表示されるプログレスバーを追加。
- クリップ表示色をコピーできるように属性の貼り付け機能を拡張。

### Mync

- Nikon Z9 で撮影された Nikon RAW ファイルのインポートをサポート。
- Nikon 製カメラで撮影された ProRes RAW ファイルの既定のカラースペースを Nikon - N-Log に変更。
- EDIUS X Workgroup ライセンスで使用可能である 8K 編集・エクスポート機能を Mync Standard 及び EDIUS X Pro ライセンスでも使用できるように変更。

### 更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

#### EDIUS

- プロジェクトを開いた際に「ジョブの登録に失敗しました」という通知が表示される。
- タイムラインが書き込み中の HLS ファイルを参照している場合、エクスポートに失敗する。(SFDC00809362)
- タイムラインが Amazon S3 上の HLS ファイルを含んでいる場合、エクスポートが非常に遅くなる。(EDIUS Cloud のみ) (SFDC00810771)

- タイムラインが Amazon S3 からロードした長い HLS クリップを含む場合、EDIUS UI がフォーカスを失い、再びフォーカスを取得した際にしばらくの間応答しなくなる。(EDIUS Cloud only) (SFDC00810777)
- バッチエクスポート時に、"波形キャッシュの作成"オプションがオフになっているにも関わらず波形キャッシュファイルが作成される。
- シーケンスの新規作成を素早く繰り返すと EDIUS が強制終了する。
- EDIUS X で作成されたプロキシファイルが誤って GoPro スパンドクリップの一部として扱われる。
- クリップにプライマリーカラーコレクションが適用されていて、その"色空間"の"変換基準"が"シーンライト"に設定されていると、小さな緑色のノイズが現れる。(SFDC00811862)
- タイムラインが Amazon S3 からロードした HLS クリップを含む場合、エクスポートしたファイルがタイムラインと異なる。(EDIUS Cloud only) (SFDC00812239)
- プライマリーカラーコレクションが JPEG ファイルの色空間を正しく変換しない。
- EDIUS をインストールしてある仮想マシンを複製して作成した環境では EDIUS をバージョンアップできない。
- タイムラインクリップに時間エフェクトを掛けたとき、オーディオ波形が点滅し続ける場合がある。(SFDC00806784)
- リモートドライブ内のファイルをタイムラインにドロップすると、その波形キャッシュを作成している間 EDIUS の UI が応答しない。(SFDC00814067)
- 一度 PC が AC 電源からバッテリー駆動に切り替わると、全てのジョブが停止し再開できなくなる。
- 古いバージョンの EDIUS で作成された部分転送情報を持つファイルを開こうとすると EDIUS がフリーズする。
- クイックタイトラークリップにスライド B Right エフェクトを適用すると、クリップ内のオブジェクトがエフェクトの開始点の直前でわずかに動く。(SFDC00813671)
- 各 GPUfx トランジションの設定ダイアログの[ピクチャ]タブが正しく描画されない。
- 大量のクリップをロードする際に EDIUS がマルチスレッド衝突で強制終了する。

## Mync

- EDIUS X で作成されたプロキシファイルが誤って GoPro スパンドクリップの一部として扱われる。
- ストーリーボードが Amazon S3 からロードした HLS クリップを含む場合、エクスポートしたファイルがストーリーボードと異なる。(Mync Cloud only) (SFDC00812239)

## Version 10.32.8750 Released 2022-05-24

### 機能追加

\*追加された機能はありません。

### 更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

### EDIUS

- 部分レンダリングジョブが複数のジョブに分割されたとき、ジョブの並び順がおかしい。
- タイムラインに"カットポイントの削除"を実行可能なシーケンスがある場合、"In/Out 点間のみ出力する"オプションを設定してのエクスポートが失敗する。
- オーディオ波形をタイムラインに表示した状態で"プロジェクトのコンソリデート"を実行すると EDIUS が強制終了する。
- EDIUS Hub Server が見つからない場合、外部 Render Engine が強制終了する。(EDIUS Hub Server 環境のみ)

### Mync

\*修正・改善された不具合はありません。

## Version 10.33.9356 Released 2022-09-27

### 機能追加



本バージョンにて以下の機能が追加または改善されました。

## EDIUS

- エクスポート中にプログレスバーダイアログを表示し、編集操作できないようにするためのオプションを追加。  
※ [設定] - [ユーザー設定...] - [アプリケーション] - [その他] の順に開き、"レンダリングの進捗ダイアログを表示する" オプションを有効にする。
- プロジェクトとはわずかにフレームレートの異なるクリップの取り扱いを改善し、最後のフレームが表示されないケースを解消。
- Blackmagic RAW SDK を更新し、以下の機能を追加・改善。
  - Blackmagic Design Pocket Cinema Camera 6K G2 をサポート。
  - Panasonic Lumix S1H、S1、S5 及び BS1H のホワイトバランスの正確性を向上。  
※ Blackmagic Video Assist と組み合わせて使用可能なカメラのメーカーは以下の通り。  
Blackmagic Design、Canon、Nikon 及び Panasonic
- AJA Io X3 をサポート。  
※ AJA Software v16.2 のインストールが必要。
- Sony VENICE 2/CineAltaV 2 をサポート。

## Mync

- プロジェクトとはわずかにフレームレートの異なるクリップの取り扱いを改善し、最後のフレームが表示されないケースを解消。
- Blackmagic RAW SDK を更新し、以下の機能を追加・改善。
  - Blackmagic Design Pocket Cinema Camera 6K G2 をサポート。
  - Panasonic Lumix S1H、S1、S5 及び BS1H のホワイトバランスの正確性を向上。  
※ Blackmagic Video Assist と組み合わせて使用可能なカメラのメーカーは以下の通り。  
Blackmagic Design、Canon、Nikon 及び Panasonic
- Sony VENICE 2/CineAltaV 2 をサポート。

## 更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

## EDIUS

- OS のマウスポインターオプション"ポインターを自動的に既定のボタン上に移動する"が有効になっていると、Job タブが意図せず移動する。
- GV Job Monitor の日付・時刻が OS のロケール設定に準じた表示にならない。  
※ 日付や時刻のフォーマットのカスタマイズには未対応。
- プロキシモード中にクリップを新たに Bin に登録した場合、そのクリップのプロキシ作成ジョブの登録に失敗する。
- シーケンス名にファイル名として使用できない文字が含まれていたとしても、その名前がシーケンスをエクスポートする際にデフォルトのファイル名としてそのまま使用される。
- 複製したプロジェクトを開くと、部分レンダリング状態が解除される。
- チェックアウトされたプロジェクトからのファイルのエクスポートが失敗する。
- 別のプロジェクトからインポートしたネストされたタイムライン シーケンスのオーディオ波形キャッシュ作成ジョブが失敗する。
- クリップの置き換えを行った際、プレビューが更新されない。
- エクスポート対象のシーケンスの名前が改行文字を含んでいると、エクスポーターダイアログが開かない。
- "色の設定"ダイアログのカラーピッカーペインが、色の選択中に拡大画像を表示しない。
- エフェクト設定ダイアログでカラーピッカーを操作すると EDIUS が強制終了する。(SFDC00816094)
- オートセーブに時間がかかる場合、EDIUS がエクスポート時にフリーズする可能性がある。
- タイムラインが FLAC ファイルを含んでいる場合、エクスポートが非常に遅くなる。
- 外部レンダリングエンジンが EDIUS と同じパスでプロジェクトを参照できない場合、レンダリングジョブが失敗する。(EDIUS Hub Server のみ)
- 特定の MOV ファイルをインポートできない。
- 特定の ProRes MOV ファイルに含まれるアルファチャンネルを EDIUS が認識しない。(SFDC00818980)

- 特定の MPEG4 visual クリップを再生すると画像ノイズが表示される。(SFDC00819814)
- インストールしたサービスが停止しないため、EDIUS のアンインストールに失敗することがある。
- GV Job Monitor および [Job] タブの UI 画面が表示されない。
- ファイルをエクスポートする際、オプション設定の"オーディオの出力"と"波形キャッシュの作成"が無視される。
- エクスポート中にタイムコードモード (DF, NDF)の変換が動作しない。(SFDC00815044)
- s3 MPEG2 MXF エクスポーターで、若しくは FTP 経由で出力した MPEG2 MXF ファイルが SMPTE RDD9 に適合しない。(SFDC00825699)
- ジョブの進捗が 100%になっても、ジョブが終了しないことがある。
- Blackmagic Video Assist で記録された Blackmagic RAW クリップをインポートすると EDIUS が強制終了する。
- エクスポート時にソースファイルの読み込み中に I/O エラーが発生した場合、出力されたファイルの末尾に黒い部分が入る可能性がある。(SFDC00821867)
- エクスポート時にプログレッシブからインターレースへの変換が行われると、稀にエクスポートされたファイル内に下位フィールドが黒のフレームが現れる。(SFDC00820151, 00824596)
- RED ファイルをデコードする際に潜在的に下記のような問題がある。
  - RED ONE ファイルをロードする際に強制終了する可能性がある。
  - RED KOMODO 6K からのファイルに稀にノイズが乗る。
  - 高 ISO 設定のファイルのレベルがわずかに上昇する。

## Mync

- ストーリーボードが FLAC ファイルを含んでいる場合、エクスポートが非常に遅くなる。
- 特定の MOV ファイルをインポートできない。
- 特定の ProRes MOV ファイルに含まれるアルファチャンネルを Mync が認識しない。(SFDC00818980)
- 特定の MPEG4 visual クリップを再生すると画像ノイズが表示される。(SFDC00819814)
- Blackmagic Video Assist で記録された Blackmagic RAW クリップをインポートすると Mync が強制終了する。
- エクスポート時にソースファイルの読み込み中に I/O エラーが発生した場合、出力されたファイルの末尾に黒い部分が入る可能性がある。(SFDC00821867)
- エクスポート時にプログレッシブからインターレースへの変換が行われると、稀にエクスポートされたファイル内に下位フィールドが黒のフレームが現れる。(SFDC00820151, 00824596)
- RED ファイルをデコードする際に潜在的に下記のような問題がある。
  - RED ONE ファイルをロードする際に強制終了する可能性がある。
  - RED KOMODO 6K からのファイルに稀にノイズが乗る。
  - 高 ISO 設定のファイルのレベルがわずかに上昇する。

## Version 10.33.9453 Released 2022-10-25

### 機能追加

本バージョンにて以下の機能が追加または改善されました。

### EDIUS

- 必要な EH サービスが動作していないことが検出された場合、メッセージを表示するように改善。  
※ 詳細については EDIUSWorld.com の [FAQ](#) を参照。
- モニターコントロールの対象機種として EIZO CG2700X/2700S を追加。(Workgroup のみ)

### Mync

\*追加された機能はありません。

### 更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

### EDIUS

- EDIUS の UI が OS の言語で表示されている場合でも、一部のダイアログやオプションが英語のままになっている。
- Bin で”エクスプローラーで開く”コンテキストメニューを選択した際、エクスプローラーが EDIUS UI の後ろ側に表示される。

## Mync

\*修正・改善された不具合はありません。

## Version 10.33.9547 Released 2022-11-15

### 機能追加

本バージョンにて以下の機能が追加または改善されました。

### EDIUS

- インストーラーに含まれるソフトウェアライセンス契約を 2022 年 10 月 20 日版に更新。

### Mync

- インストーラーに含まれるソフトウェアライセンス契約を 2022 年 10 月 20 日版に更新。

### 更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

### EDIUS

- リモートドライブからインポートしたクリップに対しオーディオのノーマライズを開始すると、EDIUS がフリーズすることがある。(SFDC00825455)
- リモートドライブからインポートしたクリップのオーディオ波形が突然表示されなくなる。(SFDC00829886)
- XDCAM デッキをレコーダーとしてインサート編集を行うと、アウト点の後ろに黒いノイズが入ることがある。

### Mync

\*修正・改善された不具合はありません。

## Version 10.34.9631 Released 2022-12-06

### 機能追加

本バージョンにて以下の機能が追加または改善されました。

### EDIUS

- NDI 出力機能を追加。(Workgroup のみ)  
※ NDI SDK の制約により、フィールドオーダーは”上位フィールド”または”プログレッシブ”にする必要がある。  
※ 詳細については EDIUSWorld.com の [FAQ](#) を参照。

### Mync

\*追加された機能はありません。

### 更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

## EDIUS

- EDIUS の UI が OS の言語で表示されている場合でも、一部のダイアログやオプションが英語のままになっている。

## Mync

\*修正・改善された不具合はありません。

## Version 10.34.9923 Released 2023-01-17

### 機能追加

\*追加された機能はありません。

### 更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

## EDIUS

- プロジェクト設定で 2160x3840 のような縦長フレームが設定されていると、一部のフィルターの設定ダイアログで[OK]ボタンがクリックできなくなる。
- リムーバブルメディアからプロジェクト フォルダーにクリップを転送した場合、転送されたクリップのファイルパスが変更されない。
- 平均ビットレートが最大ビットレートに比べ小さすぎると、エクスポートした H.264 MP4 VBR ファイルの画質が非常に悪くなる。

## Mync

\*修正・改善された不具合はありません。